

2019年度人文学部 FD活動方針・計画

(キリスト教学科、人類文化学科、心理人間学科、日本文化学科)

まず、学部レベルとしては、カリキュラム委員会を中心として2018年度末に実施した卒業生アンケート調査の分析を行い、人文学部のカリキュラム・ポリシーとの整合性の検証、2017年度から開始されたクォータ制に伴う授業運営の問題点と改善策の検討を前年度に引き続いて行っていく。また、学部共通科目群については、2018年度末に学部FD企画として実施したシンポジウムの成果をも利用しつつ、教育効果の検証とより豊かな教育効果を得るための方策の検討を進めていく。特に、2019年度にはじめて開講する「人文学部異文化研修短期留学プログラムB」については、参加者の声を拾い上げて検証し、より効率的な運営方法を検討する。特に、「人文学部異文化研修短期留学プログラムA」や他学部の類似のプログラムと差異化された独自のアピール点をどのように組み込んでいくかを考えたい。人文学部FD企画については、FD委員会を中心に原案を作成し、学部カリキュラム委員会において決定する予定である。大学の内外の人材に広く協力者を求めながら、実質的で実りある企画となることをめざしたい。

学科レベルでは、学科ごとに次のような計画を実施する予定である。

キリスト教学科は日常的な取組みに加えて、とくに以下の点に重点をおく方針である。(1) 基礎演習と演習のあり方について意見交換の時間を増やし、授業内容と担当者の分担などをあらためて検討することで今後の授業改善につなげたい。(2) 新任教員があらたに研究と教育を進められるよう環境整備を援助し、授業運営などに関して他の教員からアドバイスをおこなう機会をもうける。(3) 引き続き、学科FD懇談会を企画して実行する。その際、学科の理念やカリキュラムに関連することがらに加え、授業方法の具体的工夫などを共有できる内容も考えたい。

人類文化学科では、学科卒業生を対象として昨年度に実施したアンケートの分析を行い、学科のカリキュラム・ポリシーとの整合性を検証するとともに、学科のワーキンググループを中心に学科カリキュラムの見直しを進めていく。

「人類学フェスティバル」や大学のオープンキャンパスなどの行事を通して、学科の魅力を発信していく。また、新たな授業の試みとして、中国での学外授業を含む「フィールドワーク(文化人類学)」を実施する。さらに、昨年度にリニューアルした学科のHPの更新のための体制づくりを進め、コンテンツの更なる充実を図っていく。例年行なっている学科FD研修会を今年度も実施する。

心理人間学科は、公認心理師受験資格対応のカリキュラムを計画通りに進めることに加え、多様な機会をとらえて学生の情報、授業の情報を共有するよう

努めるとともに、新入生、卒業生、オープンキャンパス参加者を対象とした学科教育にかかる調査活動も例年通りに継続する。また学科会議はもちろん、「心理人間学科自己点検・評価委員会」や「心理人間教育研究会」を開催し、教育・研究にかかる課題の発見と対処についての検討をすすめていく。

特に2019年度は、学生の計画的な履修に対する学科としての指針について検討したい。大学での学習は学生の自由を尊重すべきではあるが、同時に学習の方向や、努力の程度を見出せず、混乱してしまう学生も、特に低学年時で少なからず存在する。こういった問題は学年が進行するにつれて深刻化する場合も多いため、単位数、成績（GPA）、科目の履修順など多方面から、学生にとって指針、道程となり得るようなものの提案について検討を進める。加えて、授業外での学習経験を促進する方策についても議論を進めたい。なお授業外での学習経験とは、たとえば学内外で開催される各種講演会、講習会、学術大会等への参加や、教員や先輩による研究への参加協力などをさす。このような学習機会への取り組みを動機づけ、評価できるような仕組みについて検討する。

日本文化学科では、例年行っている卒業生に対するカリキュラム調査などを参考にしつつ、より一層のカリキュラムの充実を継続して話し合っていく予定である。また、学生への指導に際しては、従来と同様に学科内における情報の共有を怠ることなく、細やかな対応に努めることとしたい。毎年年度末に行うFD企画については、学科内での教育システムの向上に実質的な効果があるよう、毎年工夫をこらしたさまざまなテーマで行っているが、本年度も衆知を集めて有意義なものを開催したい。また、本年度からは、3年生の演習単位が減るが、それがどのような影響を学生の教育に及ぼすのか、慎重に調査し、もし弊害が生じているようであれば対応策を考えたい。また、今年度には他大学から3人の教員が移籍した。他大学での経験を他の教員も参考にして学科としてよりよい教育ができるよう連絡を密にしていきたい。